



# なばり

2019年(令和元年) 9月25日号

主な内容

- 3……職員採用候補者試験追加募集
- 4……ひまわり
- 5……里親入門講座
- 6……保育所(園)、認定こども園など児童募集
- 7……インフルエンザ予防接種助成
- 8……市民文化祭

発行/名張市秘書広報室 〒518-0492 名張市鴻之台1-1 ☎0595-63-7402 FAX 0595-64-2560 ✉pr@city.nabari.mie.jp

## 人と動物が 笑顔でいるために

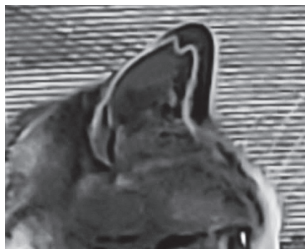
9月20日～26日は動物愛護週間

ペットを最期まで飼い続けることは飼い主の義務です。そして、人間の身勝手な行動で不幸な動物を増やさないことが重要です。今号では、不幸な猫を減らす活動をしているボランティア「ひだまりにゃんこ」と保健所の取り組みを紹介します。

☎ 環境対策室 ☎ 63-7492

### 猫の不要な繁殖を防ぐ TNRの取組とは？

猫を捕獲し、不妊手術をし、元の場所へ戻すことで、猫の不要な繁殖を防ぎ、不幸な野良猫の数を減らす取り組みです。



不妊手術済みの猫には、耳がさくらの花びらの形にカットされるので「さくらねこ」と言われる。

- T**rap…捕まえる
- N**euter…不妊手術
- R**eturn…元の場所へ

### 最期まで大切に 飼いつづけます

すずらん台在住  
藤田 純子 さん



今年の4月にひだまりにゃんこさんの活動を知り、これまでつらい経験をしてきた猫を幸せにしたいという思いで新たに猫を迎え入れました。

まずは不妊手術を済ませ、屋外に出してしまうとさまざまな危険があるので、脱走して逃げ出さないように網戸を二重にするなど、室内の環境も整え、猫にとってストレスがなく幸せでいられるようにできる限りの対策をしています。

これからは、家族の一員として最期まで一緒に過ごしていけたらと思います。



### 猫の幸せのため活動するボランティアグループ

不幸な猫を  
少しでも減らしたい



ひだまりにゃんこ  
代表 高松 智子 さん

私は、不幸な猫を少しでも減らすため「ひだまりにゃんこ」を立ち上げました。殺処分されそうな猫や餓死してしまいう前の猫を保護し、里親を探す活動をボランティアで行っています。定期的開催している譲渡会では、これまで多くの人に里親になっていただきました。大切に飼うための約束を守ってもらい、飼う環境が整っているかなども訪問して確認し、猫をお渡ししています。

身勝手な行動は  
不幸な猫を増やす

野良猫を捕まえて不妊手術をすることは自然の摂理に反しているかわいそうだと思う人がいると思います。また、野良猫に不用意に餌を与える人もいますが、猫は生後7カ月から妊娠でき、繁殖力が強くなるため、放っておくとあっという間に増えてしまいます。結果、不要に繁殖した猫たちの多くは、殺処分や餓死により命を落とすことになり、不幸な猫が増えることにつながります。



譲渡会の様子

今も猫を簡単に捨ててしまう事例が後を絶ちません。猫はモノではなく命があります。猫を飼っている人たちには、最期まで大切に飼ってほしいです。猫を好きな人も嫌いな人も嫌な思いをしなくて済むよう、人と猫が共に幸せに暮らすことができる社会を目指し、これからも活動していきたいと思えます。

2ページへ続く